

## 番組審議会議事録

開催年月日：平成23年11月24日(木) 15時00分～16時00分

開催場所：木更津市民総合福祉会館 第2会議室

委員の出席 委員総数 7名

出席委員数 6名

出席者の氏名： 藤浪 陽四郎（委員長）、早川 令子（副委員長）、  
鶴岡 静治、山口 貴史、阿津 光夫、村重 正明

欠席委員の氏名： 平野 満

放送事業者側出席者： 石村 比呂美、相川 秀雄、兼平 健一

### 1. 議題

2011年11月8日に放送されたコーナー「こころの窓」について

### 2. 審議内容（抜粋）

（村重 委員）

今回、女子高校生の悩みに答えるという番組内容でしたが、ちょうど放送時間帯に学生は学校に行っているのもっと多くの人に共感を得られるよう、題材にあわせて放送時間帯を設定したほうがよいのでは、と思いました。リスナーに近い内容であれば、親身になって耳を傾けるだろうし、同年代の人が聴いたらもっと違う反響があるような気がします。

（鶴岡 委員）

10代の悩み相談でしたので、時間帯がやはり気になりました。対象となるリスナーと放送時間帯が適当であるのかどうかと思います。内容に関して、独占欲、執着心の話でしたが、小林先生は精神の発達というふうにとまどめていましたが、個人的にはいかに相手の立場を思いあっていることを勉強していくことも大切ではないか、というのが番組の感想です。

（阿津 委員）

小林先生が内容を吟味して回答しているところは、さすがだなという印象を受けました。

(放送事業者 石村)

「こころの窓」を放送している「To.Ko.To.N かずさ」の放送時間帯は、月曜日～金曜日の朝 9 時～10 時と夜 7 時～8 時（再放送）です。今回の「こころの窓」は、女子高校生の悩みに答えるという題材でしたが、例えば、親御さんが子供にどう接したらいいのかというテーマの時もあります。パーソナリティーの小林先生は、「スクールカウンセラー」という肩書ではありますが、子育て中のお母さんからの質問だったり、会社での対人関係の悩みも題材にして制作しております。

(藤浪 委員長)

どこの年齢をターゲットにしていくのかを考えていくことも大切だなと感じました。内容と BGM はいいと思いましたが、もうすこしソフトに聴こえる音量にしたほうがよいと感じました。番組のターゲット層によって、BGM の音量や速さが違うと思います。

(早川 副委員長)

BGM に関してですが、水の音が大きい気がしました。また、他の番組でも BGM が割と大きいか、という印象を受けました。

(村重 委員)

BGM に関しては、メリハリが大事だと思います。例えば、相談のコーナーは小さめで、PR は大きくするなど。かずさエフエムを聴くと安らぐよね、というのがベースにあっての音量のメリハリだと思っています。この「こころの窓」は、BGM も心地よく、パーソナリティーの話し方も非常に心和む雰囲気だと思います。

(放送事業者 石村)

BGM に関しては全体的に大きいのではないかと感じております。他局を含めて、最近の風潮としては、BGM が大きいということがありますが、個人的にはしゃべりがメインだと思うので、BGM は無音にならない程度でいいのではないかと考えております。